

ホッスモ

Najas graminea Del.

イバラモ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

従前は、県下の池沼にしばしば見られた種類であるが、近年著しく減少した。(現況:V-)

形態

他のトリゲモ類と類似しているが、葉の基部の托葉が耳状に尖ることが本種の特徴である。葉は三輪生状に着き、葉身は線状、長さ1~2.5cm、幅0.2~0.7mmで、葉縁に鋸歯があるが、目立たない。雌雄同株、果実は通常1個が各節に着く。

国内分布

北海道にはごくまれ、本州、四国、九州、琉球に分布。アジア、ヨーロッパ、北アフリカ分布。北米に帰化。

県内分布

かつては、能登にしばしば産した。近年の調査では、南加賀区から報告があった。今回の調査では外浦区、中能登区、南加賀区で確認された。

生態など

沈水性一年草。花期は6~9月。もとは水田雑草の一種。

生育環境

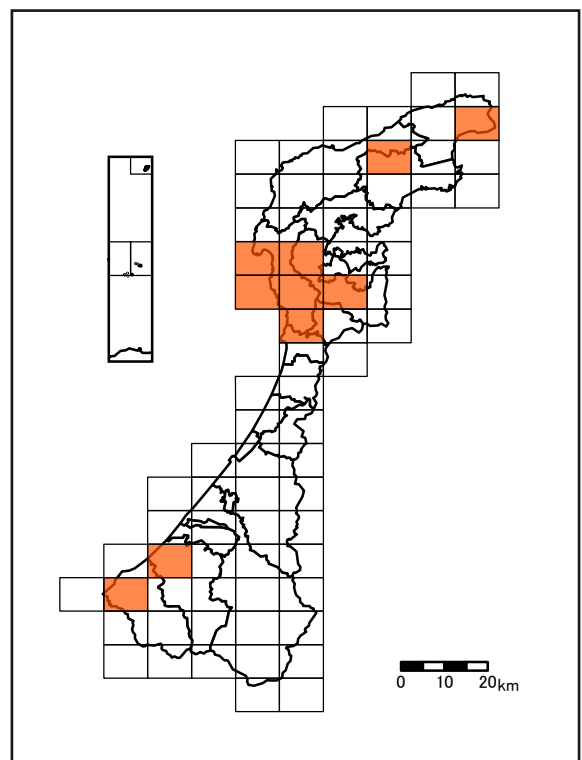
池沼、溝。

危険要因

池沼開発。



白井伸和・2003年8月30日・能登町



県内の分布